

総務市民文教委員会行政視察報告書

市内視察における調査結果について、下記のとおり報告します。

平成31年4月22日

光市議会議長 西村 憲治 様

総務市民文教委員会

委員長	笹井 琢
副委員長	岸本 隆雄
委 員	木村 信秀
委 員	田邊 学
委 員	中本 和行
委 員	仲山 哲男
委 員	西村 憲治（議長）
委 員	林 節子
委 員	森重 明美
随 行	松尾 真

記

- 1 視 察 年 月 日 平成31年3月13日（水）
- 2 視 察 場 所 大和コミュニティセンター
県道下松田布施線（光市大字塩田、大字東荷地内）
- 3 視察調査結果 別紙のとおり

総務市民文教委員会行政視察調査結果

大和コミュニティセンターの竣工について

■大和コミュニティセンター

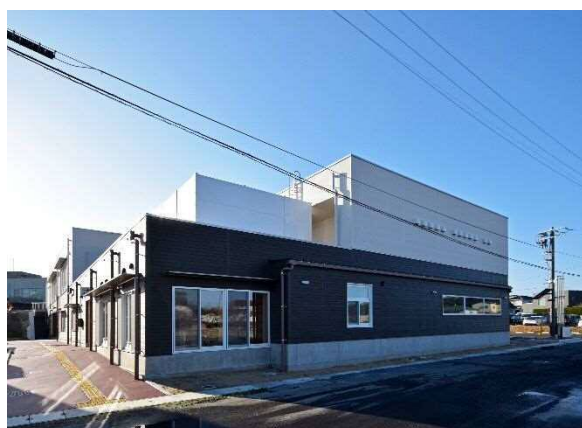
日 時	平成 31 年 3 月 13 日（水） 10：00 ～ 10：45
場 所	光市大字岩田 2483 番地 1
説 明 員	田村市民部長、古迫市民部次長、 縄田地域づくり推進課長、秋山地域づくり支援係長

1 施設の概要

岩田駅周辺都市施設整備事業の主要事業の 1 つとして、現在の大和コミュニティセンター、大和支所、図書館大和分室の機能を集約した新たな大和コミュニティセンターを整備し、平成 30 年 4 月 1 日からの供用開始を行う。

本施設の建築工事では、平成 29 年 10 月に着工、平成 30 年 11 月からの太陽光発電装置設置工事を経て、平成 31 年 1 月に全ての工事が完了している。延床面積は、コミュニティセンター棟が 1,788.93m²、消防機庫棟が 123.20m²。建築工事費は、総額で 6 億 7,430 万円となっている。

コミュニティセンター棟は 2 階建鉄骨造で、施設内の段差が解消され、エレベーターや手すりが設置され、バリアフリー仕様になっている。1 階のエントランスや、2 階のサロンなどを気軽に利用でき、明るい雰囲気づくりに配慮されている。また、大和支所や図書館大和分館、さらには、光市消防団 9・10 分団、大和隊を集約した消防機庫、消防倉庫・バス倉庫・（鉄骨造平屋）などを敷地内に併設しており、地域の新たな拠点としての役割を担う施設となっている。



2 主な質疑と回答

Q：全体の事業費及び夜間の管理体制は？

→全体の事業費は約 6 億 7 千万円。夜間は、大和支所とセンター全体で 2 系統の機械警備により管理を行う。センターの鍵管理は外部へ委託。

Q：図書館の開館時間は？

→基本は9時から17時15分までで、水曜日と金曜日は19時まで開館する。月曜日が休館日。これまでと変わらない。

Q：空調については？

→センター内全体に空調がかけれるようになっている。

Q：土足での入館としているが、清掃や床材の耐用年数については？

→月2回、共用部分を外部委託により清掃する。支所内は職員により清掃する。
床材の耐用年数は10年程度と思われるが、定期的に交換するのではなく、使えるところまで使う。



総務市民文教委員会行政視察調査結果

「大和中学生通学路照明設置について」（陳情）に係る調査について

■県道下松田布施線

日 時	平成 31 年 3 月 13 日（水） 11：00 ～ 11：30
場 所	光市大字塩田、大字東荷地内
立 会 者	東荷地区連合自治会会長 森山義昭氏 他 3 名

1 施設の概要

県道下松田布施線は、下松市と田布施町を結ぶ主要地方道であり、昼間は一定程度の交通量があるが、夜間は極端に交通量が少なくなる。

この道路は、東荷から大和中学校へ通う中学生の通学路ともなっており、また、地域の人々の生活道でもある。東荷の新市地区から塩田の源城の交差点まで約 2 k m の間に防犯灯が 4 基しか設置されていない。



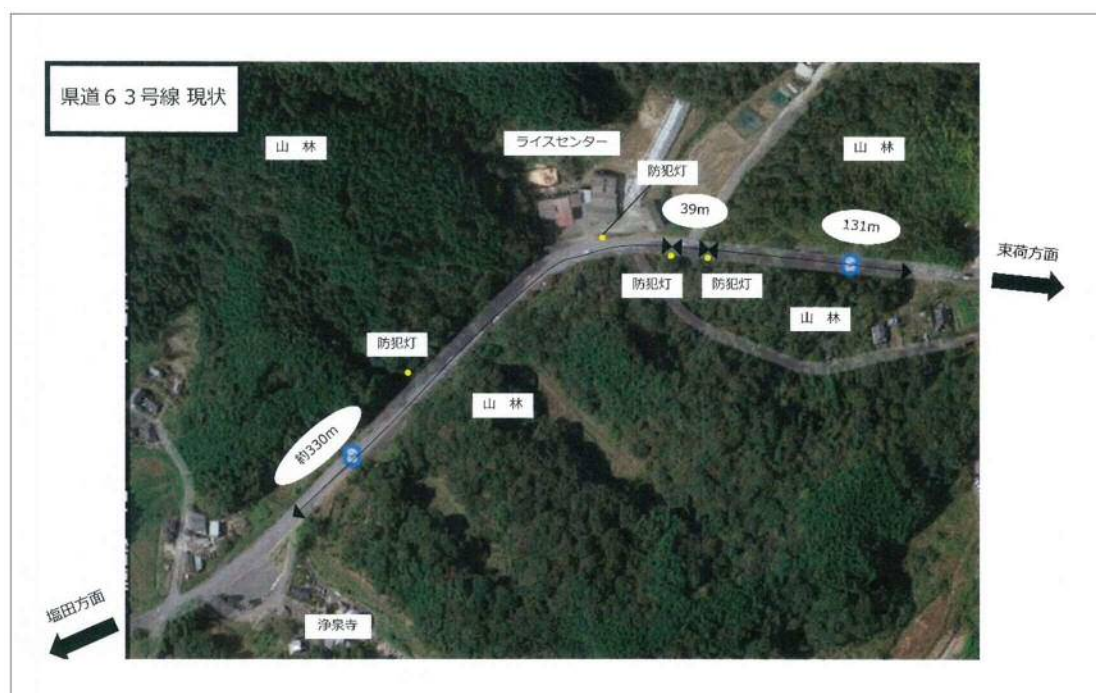
2 陳情者の意見

暗くなるのが早い冬季は、通学路としては安全とは思えない。夏場においても、街路樹や道路法面の木々が大きく繁茂し、通行幅が狭くなっている場所が多々ある。この区間は急な峠となっているため、自転車に乗ったままでの通過が難しく、歩行による通学となるが、照明がほとんどない暗い坂道を部活で遅くなった生徒が 1 人で帰宅しなければならない場合が何度もあるため、安全面で大いに不安がある。



3 陳情書

(陳受 31 第 2 号)	
大和中学生通学通路照明設置について	
受理年月日	平成 31 年 1 月 28 日
陳 情 者	東荷コミュニティ協議会会長 弘田之文 東荷地区連合自治会会長 森山義昭 大和中学校校長 弘実邦雄 大和中学校運営協議会会長 宮尾智義
陳 情 の 要 旨	
県道下松田布施 63 号線（東荷のライスセンターから塩田の浄泉寺周辺）は、生活道であるとともに、地域の中学生の通学路になっています。 しかしながら冬季は通学路として万全とは言えません。 東荷方面から 500m 上がった箇所については照明が殆どなく、ほとんど暗闇の状態となっております。またこの周辺は坂道となっており、自転車での上りは難しく徒歩での移動になろうかと思えます。 通学する生徒の中には、部活で遅くなる女子生徒や男子生徒がおり、一人で帰宅すること多い状況の中、今まで犯罪がなかったのが不思議に思えます。 「だろう。良からう」の考え方では、生徒が被害者になることは防げません。照明を設置し、犯罪を 100 パーセント防ぐことが出来なくても、10 パーセント、20 パーセントでも危険性を下げていくことが我々大人たちの義務と考えています。 つきましては、現地を充分にご確認のうえ、照明設置を早急に実施してくださいませよう、切に要望いたします。	



行政視察所感

笹井 琢

●大和コミュニティセンターの竣工について

バリアフリーの行き届いた2階建の施設となっている。2階東側入口は新しい市営県営住宅の公園に面する予定だが、工事未着手なので動線がよく分からない。室積コミュニティセンターの経験から見ると、子供たちが放課後ふらっと立ち寄れる場になるかどうかが重要である。岩田と三輪から移設統合される消防機庫は、大きな屋内空間が確保されており好感が持てる。

●「大和中学生通学路照明設置について」(陳情)に係る調査について(県道下松田布施線)

東荷地区の中学生約10名が本路線を通り大和中学校へ通学している。道路改良済で歩道も設置されているが、冬季夕刻には相当暗くなることが認識できた。光市内小中学校の通学路安全確認は毎年行われているので、その中で重要性・優先性が確認できれば照明設置を推進しやすい。法面に生えている草木の除去については、国道188号清山でも同様の問題があるが、明確な支障木とならない限り、行政は対応しない。旧道(現市道)については、関係戸数が少なく防犯上の危険性もあるので、森林に囲まれた部分は廃道を考えるべき。

岸本 隆雄

●大和コミュニティセンターの竣工について

「人口減少、高齢化が進む大和地区で、住民が生活しやすい街づくりとは!」の課題の基に、県、市及び大和地域の住民が協議を進め、コンパクトシティ構想がまとまった事に共感いたします。そして、大和地域の中心地に、コミュニティセンター・支所・図書館が併設して建築されたことは、たいへん意義深いと思います。これから、県営・市営住宅建設が着工されます。岩田駅から大和病院までの間が、利便性の高い空間になる事を期待します。

●「大和中学生通学路照明設置について」(陳情)に係る調査について(県道下松田布施線)

現場は、県道の頂上でカーブした道で、見通しが悪く、周りに人家が少なく、大変危険な場所だと認識いたしました。関係機関に掛け合い一刻も早い、防犯灯の設置を図りたいと思います。

木村 信秀

●大和コミュニティセンターの竣工について(大和コミュニティセンター)

県と市によるコンパクトシティ計画の一步として、JR岩田駅前における拠点として総額約6億7千万円を費やし建設された施設であることを実感できるものであった。また地域防災の拠点としての役割や地域住民の交流の拠点として充分活用していただきたい。周辺地区では、今後、様々な建設が予定されているが、ハードはもちろん、魂であるソフト

事業に期待したい。

●「大和中学生通学路照明設置について」(陳情)に係る調査について(県道下松田布施線)

県道下松田布施 63 号線、東荷ライスセンターから塩田浄泉寺周辺の街灯は少なく、児童生徒の通学路としては暗く危険を感じさせた。今後、自治会がないこの地区に防犯灯や街路灯を設置することの要望を如何に考えるか、検討しなくてはならないと感じる。

田邊 学

●大和コミュニティセンターの竣工について

大和コミュニティセンターについては、岩田駅周辺のコンパクトシティ化での計画的によるもので、大和支所、図書館大和分室を集約した複合施設でした。視察してみて、特に、二階の図書館横のテラスには読書ができるようテーブルが用意され、市民がくつろげる空間となっており、全体的に明るいイメージを感じました。地域コミュニティ活動の拠点という意味からも、これからより多くの市民に愛され、活気ある地域づくりのために役立つことと思います。

●「大和中学生通学路照明設置について」(陳情)に係る調査について(県道下松田布施線)

県道下松田布施 63 号線は、生活道、地域の中学生の通学路ということで、問題点について陳情者の方から説明を伺いました。地域の方は、「犯罪や事件、事故」をかなり前から危惧されておりました。照明設備「防犯灯」という事ですが、県道であり、照明使用料(電気代)や設置代等、一つ一つ解決して、地域の方が安心して暮らせるよう協力していきたいと思います。

中本 和行

●大和コミュニティセンターの竣工について

岩田駅周辺都市施設整備事業の 1 として、コミュニティセンター、大和支所、図書館大和分室、消防機庫、バス機庫を併設した複合施設です。センター内にはエレベーターが設置され、和室、調理室、会議室、特にお年寄りに優しい洋式トイレも設置されていました。ホールはステージ付きで、最大 200 席収容とのこと。図書館大和分室の傍には、本をゆっくり読み、おしゃべりしてくつろげ、また、子供たちが遊べるカーペット敷きの「ふれあいコーナー」や離乳室もありました。子供からご年輩の方まで、地域の憩いの場として大いに活用され、大和地域の活性化に繋がる施設となって、更なる地域発展に寄与することを期待しています。

●「大和中学生通学路照明設置について」(陳情)に係る調査について(県道下松田布施線)

東荷のライスセンターの辺りは、生活道と地域の中学生の通学路になっていますが、冬季は通学路としては安全とは思えない状況です。今まで、大きな犯罪等は有りませんでした。生徒が被害者にならないよう、事前に妨がないといけません。照明設置につきましては、通学路の安全対策として、今後、教育委員会と協議したいと思います。また、両地区の自治会との課題を協議しながら検討したいと思います。

仲山 哲男

●大和コミュニティセンターの竣工について

建築工事もほぼ完了し、オープンに向け概ね順調に準備が進んでいることに、まずは安心した。仕事柄、納まりがピリッとしめない点や、使用上の配慮の点で、気になるところがあったが、工事段階での設計監理の体制や施工図での検討など、高価な材料・工法を用いなくても、品質を上げる工夫が必要と感じた。利活用のための運営ワークショップを重ねた成果をしっかりと生かす運営に期待。

●「大和中学生通学路照明設置について」（陳情）に係る調査について（県道下松田布施線）

坂道で、街路照明の間隔がひらいている上、樹木が繁茂し、日の短い冬場は暗く、心配は理解できる。対処としては、照明の設置、樹木の枝降ろし・伐採が考えられるが、光市通学路合同点検会議で対象として、中学校から上げていただき、市内全域の安全対策の中で取り上げるのが良いのではないかと。防犯灯は電気料や電柱設置費用等、地域での負担もあるので、よく理解・共有の上、進めることが肝要。

西村 憲治

●大和コミュニティセンターの竣工について

<疑問点>

建物の質は、投資額に見合うものだろうか。

山口県産の杉材腰板は見栄えが悪く、少々疑問。

腰板の額縁の面取りが不十分、仕上げが雑、掃除も不十分ではないか。

仕上げ材のところどころに傷など見受けられるが、最終の手直し・点検はするのか。

大和支所の金庫の場所が窓際で不適切である。

床材のカーペットタイルが滑り、危険である。

外回りの街灯・柱等への衝突防止（蛍光版）の措置が不十分である。

消防機庫との間にある階段の衝突防止や倉庫裏手の土間の仕上げ等、安全対策が不十分である。

立ちっぱなしの説明で、全員集合の上、意見交換・質疑の場が無かった。

勝手口に飛び出し防止の対策が必要。

<良かった点>

天井高は2,700mmある上、2階までの吹き抜けもあり、明るい仕上げになっている。

調理室は高さ調整できる調理台はありがたい。

全部のトイレ便座に洗浄機がある。

<感想>

予算に限りがあるのでやむをえない面もあるのだろうが、しばらく様子を見たいと思う。

●「大和中学生通学路照明設置について」（陳情）に係る調査について（県道下松田布施線）

大和ライスセンター前で下車し、陳情者4名がおられた。

樹木（街路樹及び法面）の伐採及び県道歩道に4か所の防犯灯設置の依頼があった。

<気づき>

現場を十分に視察できていない。

関係部署の職員の随行がない。

視察後、議員同士の意見交換がない。

委員会における陳述がない場合の陳情者の現地説明には、一定のルールが必要。

<感想>

いかにして陳情者にお答えを返し、委員会の締めくくりをどうするか。

林 節子

●大和コミュニティセンターの竣工について

大和コミュニティセンターを視察（供用開始前） 施設に入ると太陽の光が入り、優しい木の色と合わさって明るく優しい雰囲気だった。調理実習室では、調理台が4機あり、そのうち1機は電動で上下（20cm）出来るようになっており、幅広い年齢に対応出来るようになっている。中央にはテーブルと椅子があり、会議も出来る。地域住民が予約なしでエントランスやサロンが利用できる。また、図書館大和分室には1万5,000冊あり、スマートフォンやパソコンで検索可能である。

●「大和中学生通学路照明設置について」（陳情）に係る調査について（県道下松田布施線）

県道下松田布施63号を調査視察したところ、東荷方面から500m上がった箇所には照明がほとんどなく、民家も少ない。そして、この周辺は坂道であることから自転車での通学は難しく徒歩の移動となる。さらに、県道のため交通量が多いが、冬季は早期に暗くなるため、事故や犯罪に巻き込まれる危険がある。子どもたちの安全のためにも、照明の設置が急がれる。

森重 明美

●大和コミュニティセンターの竣工について

今後、大和地域の暮らしやすさを支援し、地域コミュニティの中心となる複合施設の完成が近く、委員会で整備状況を現地視察しました。現在の大和コミュニティセンター、大和支所、図書館大和分室の機能を集約した当施設は、今後の高齢社会へ配慮が感じられ、大人から子供まで市民の活用に配慮された施設であると感じました。図書館機能も若い子育て世代や高齢者の世代間交流の居場所づくりとして、大いに期待できる場であると感じました。

●「大和中学生通学路照明設置について」（陳情）に係る調査について（県道下松田布施線）

県道下松田布施63号線の通学路へ夜間照明取り付けの陳情があり、現地を委員会で視察いたしました。県道は、道幅は広いものの、下り車線には歩道がなく、上り車線の歩道も山の側面からの木々の伐採をこまめに行わなければ、暗がりの危険性や通行への支障をきたす道路であると感じました。防犯灯設置の経費は地元自治体の負担となるため、現設置の経費負担はどのようになっているのか、また、元々は社協の管轄で通学路防犯灯設置が推進されていた経緯等、更なる調査の必要性を感じます。